

3年 図工 評価基準

学期	月	題材	評価規準	
1 学期	4月 5月	絵の具と水のハーモニー（水彩画）	4	知識 筆の動かし方や水の量を変えることを通して現われる形や色の感じがわかっている。 技能 水彩絵の具を使ってできる形や色の感じ、筆の動かし方でできる跡の違いなど、いろいろな表し方を工夫している。 発想・構想 絵の具遊びで描いた形や色の感じをもとに、好きな形や色、描く心地よさからイメージを広げて表したい感じを考えている。 鑑賞 友達の作品の形や色のよさや面白さを感じとったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。 主体性 水彩絵の具で色々な描き方を試し、描く心地よさを味わい、表すことを楽しもうとしている。
		にじんで広がる色の世界（水彩画）	8	知識 にじみをつくりながら絵を描く活動を通して、画面全体の形や色、バランスがわかっている。 技能 ①白いクレヨンや絵の具を工夫して扱い、にじんだ表現をすることができる。 ②絵の具やクレヨンの扱い方を工夫して描くことができる。 発想・構想 にじみでできた形や色の違いから、自分のイメージをもち、表したいことやお話を思いつき、表し方を考えている。 鑑賞 友達の作品の形や色のよさや面白さを感じとったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。 主体性 にじみを生かして自分の色の世界を表すことを楽しもうとしている。
	6月 7月	くるくるランド（紙工作）	10	知識 割りピンの働きによって動く紙工作をつくりながら、作品全体や部分の形の良さ、色のバランスがわかっている。 技能 ハサミやカッター、ボンドを適切かつ工夫して扱い、自分のイメージした世界をつくることのできている。 発想・構想 ①2つの世界について想像を広げ、アイデアカードを通して考えをまとめられている。 ②紙工作用動画をもとに、どのように立体的に紙や段ボールで表すか考えている。 鑑賞 友達の作品の形や色のよさや面白さを感じとったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。 主体性 動く紙工作の作品をつくりながら、表すことを楽しもうとしている。
	9月 10月	でこぼこさん大集合（紙版画）	10	知識 クレパスや絵の具で表す活動を通して、形や色、その組み合わせの感じがわかっている。 技能 絵の具やその他の用具の正しい扱い方を身につけ、工夫して表している。（自分色紙の応用とグラデーション） 発想・構想 自分や家族へのねがいがから考えたことを基に表したいシーサーを思いつき、どのように表すか考えている。 鑑賞 自分たちの作品の形や色のよさや面白さ、表し方の工夫を感じとったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。 主体性 想像を広げ絵に表すことをたのしみ、自ら進んで取り組もうとしている。
	10月 11月	光と色のファンタジー（光を生かした工作）	9	知識 光を通す材料を扱ったり、形を変えたりしながら、光があたる時の材料の形や色などの感じがわかっている。 技能 カッターやハサミ、ボンドを適切に扱いながら、光や影を意識して、材料の形や色を試したり、作り方を考えたり組み合わせたりして工夫している。 発想・構想 光を通した材料の形や色の感じや組み合わせから感じたことをもとに、表したい光の飾りを思いつき、どのように表すか考えている。 鑑賞 自分や友達の作品の形や色のよさや面白さを感じとったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。 主体性 光を通した時の材料の飾りの美しさを楽しもうとしている。
	11月 12月	ねんどのちょい宝箱（ねんど工作）	6	知識 絵の具を混ぜた色ねんどで貯金箱をつくりながら、形や色の感じがわかっている。 技能 ①つくりたいものに合った色ねんどを絵の具やねんどの量に注意しながらつくることのできる。 ②手やねんどベラ、ボンドを工夫して扱い、貯金箱に必要な形をつくることのできる。 発想・構想 ①（発想）貯金箱の軸の形やアイデアカードのサンプル画をもとに、つくりたい貯金箱を思いつき考えをまとめることのできる。 ②（構想力）色ねんどでつくりながら、どのように作品をつくっていけばよいか自分で考え判断して作業を進めることのできる。 鑑賞 友達の作品の形や色のよさや面白さを感じとったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。 主体性 色ねんどで貯金箱をつくりながら、表すことを楽しもうとしている。
3 学期	1月	ふしぎな乗り物（想像画）	7	知識 想像画を描き進めていく中で、画面全体の形や色の感じ、バランスがわかっている。 技能 水彩絵の具やカラーペン、色鉛筆などの描画材料を適切に扱い、自分の思いに近づけるよう表すことのできている。 発想・構想 学校内の物からイメージを広げ、思いついたふしぎな乗り物や、画面内でのお話を考えている。 鑑賞 友達の作品の形や色のよさや面白さを感じとったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。 主体性 つくり出す喜びを味わい、島や山の様子を表すことを自ら進んで取り組もうとしている。
	2月 3月	ふわふわさんのすみか	6	知識 ①のこぎりで角材を切る活動を通して、木の硬さや切り取った形の感じをわかっている。（評価は難しい） ②ふわふわさんのすみかをつくる活動を通して、バランス、形や色の組み合わせられた感じをわかっている。 技能 ①のこぎりを適切に扱い、自分の考えた形になるよう工夫して切ることができる。 ②ボンドを正しく扱い丈夫に組み立てたり、絵の具の扱い方を工夫してイメージに合った色に塗ったりすることができる。 発想・構想 ①アイデアカードのヒントをもとに、どのようなふわふわさんのすみかにするか考えている。 ②切った角材を組み立てたり、色を塗ったり、ふわふわさんをつくりながら、どのようなふわふわさんのすみかにするか考えている。 鑑賞 友達の作品の形や色のよさや面白さを感じとったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。 主体性 のこぎりで角材を切ったり、ボンドで組み立てたりとふわふわさんのすみかをつくることのできることを楽しもうとしている。

合計 60